

会 議 記 録				
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会			会議場所 第3委員会室 担当職員 藤村
日 時	平成26年2月24日(月)			開 議 午後 6時 15分
				閉 議 午後 6時 35分
出席委員	吉田 中村 並河 田中 山本 石野 堤 木曾 < 旧副委員長は田中委員 >			
執行機関出席者				
事務局	藤村事務局次長			
傍聴	<input checked="" type="checkbox"/> 可・否	市民 0名	報道関係者 0名	議員 0名

会 議 の 概 要

1 正副委員長の互選について

< 事務局 >

常任委員長の任期は2年と定められているが、申し合わせにより1年となっており、ただいまから選出をいただく。選出順序等は、委員長が辞任を申し出る。議事進行は副委員長がし、委員長の辞任許可を諮り、決定後、新委員長を選出。新委員長が決定したら、議事の進行は新委員長に交替し、副委員長が辞任を申し出て、辞任許可、新副委員長の選出の順で進めていただく。

< 吉田委員長 >

先例、申し合わせを尊重し、委員長を辞任する。1年間、御協力いただき感謝する。

< 田中副委員長 >

ただ今、委員長から辞任の申し出があった。辞任を許可することに異議はないか。

異議なし

< 田中副委員長 >

異議なしと認め、委員長の辞任を許可する。次に、委員長の選出について諮る。先ほどの幹事会で指名推選の方向が示されたように思うが、選出方法は指名推選でよいか。

異議なし

< 田中副委員長 >

異議なしと認め、指名推選とする。推薦願う。

< 中村委員 >

吉田委員を推薦する。

< 田中副委員長 >

吉田委員を指名する。異議はないか。

異議なし

< 田中副委員長 >

吉田委員長が委員長に決定された。委員長席に着いていただき、ごあいさつ願う。

< 吉田委員長 >

今後とも皆様の御協力をよろしく願います。

< 田中副委員長 >

先例、申し合わせを尊重し、副委員長を辞任する。

< 吉田委員長 >

副委員長から辞任の申し出があった。辞任を許可することに異議はないか。

異議なし

< 吉田委員長 >

異議なしと認め、副委員長の辞任を許可する。次に副委員長の選出方法は指名推選、選挙のどちらに。

< 石野委員 >

指名推選で。

< 吉田委員長 >

指名推選で異議はないか。

異議なし

< 吉田委員長 >

それでは、指名推選とする。推薦はあるか。

< 石野委員 >

中村委員を推薦する。

< 吉田委員長 >

中村委員を指名する。異議はないか。

異議なし

< 吉田委員長 >

中村委員が副委員長に決定された。副委員長席に着いていただき、挨拶を願います。

< 中村副委員長 >

指名をいただき感謝する。不慣れだが、皆さんの指導をいただきながら、吉田委員長としっかり連携し、進めていきたい。協力をよろしく願います。

2 組合議会議員の推薦について

京都中部広域消防組合議会議員

< 吉田委員長 >

京都中部広域消防組合議会議員の選出について、事務局から説明願う。

< 事務局 >

京都中部広域消防組合議会議員は議長と総務文教常任委員 4 名が就任することになっている。昨年に、2 年務められた組合議会議員から交替があったので、その組合議会議員に変更がなければそのままと思われるが、御協議いただきたい。

< 吉田委員長 >

それでは、どのように取り扱うか協議願う。意見は。

< 木曾委員 >

公平を期すためにバランスよく就任すればいいと思う。1年だけの人はそのまま、それ以外はどうすればいいか考えていけばどうか。

< 堤委員 >

会派按分で選出するのが常套では。

< 吉田委員長 >

今期に就任していない人を優先すればいいかと思うが、他に意見は。

< 並河委員 >

消防組合議会議員は希望者が多く、1年前に選出いただいた。当初、同会派の田中委員も希望されていたので、今回、田中委員に交替したいと考える。

< 山本委員 >

平等に考えればと思う。

< 中村副委員長 >

この期で就任していない人があるなら、それは検討材料かと思う。

< 吉田委員長 >

今期、一度も出ていないのは、田中委員と私である。

< 木曾委員 >

それは優先すればいい。

< 吉田委員長 >

委員会からの選出でいくと木曾委員も初めてになる。

< 吉田委員長 >

田中委員と、私は選出いただく。

< 堤委員 >

回数で考えるのはおかしい。

< 吉田委員長 >

平等にという意見だった。

< 堤委員 >

並河委員は、同会派なので交替するということである。大きな会派から1人ずつ出すべき。一度もなっていないからというものではない。

< 木曾委員 >

そういう決め方なら3人会派からは出られないことになる。今までもそういう決め方はしていない。南丹病院組合議会も2人出すが、委員会で話し合っていて決めている。意見が分かれるのなら賛否をとって決めることになる。

< 吉田委員長 >

まず、どういう決め方をするのかを諮る。平等に回れるようにという意見の方は挙手願う。

挙手多数

< 吉田委員長 >

挙手多数なので、平等に選出することにする。長く就任している人から交替願う。

< 並河委員 >

組合議会議員の任期は2年か。1年か。

<事務局>

本来の任期は議員就任中ということで4年。しかし、常任委員会の任期が2年なので、昨年、委員のメンバー変更があり、それを機に協議いただいた経過がある。

今期の組合議会議員名を読み上げ

<木曾委員>

当初、堤委員が出られたときは、緑風会の中で譲った経過がある。今回、会派が変わられたのでそのあたりも考えてほしい。

<吉田委員長>

長い方は少し遠慮いただき、1年の方から順に希望があれば聞いていくことにする。田中委員は初めてだが、希望はあるか。

<田中委員>

なる。

<吉田委員長>

私も一度もなっていないのでなる。次に1年しかなくていない人は、並河委員、山本委員、石野委員。議長としての選出を除くと木曾委員も一度もない。並河委員は田中委員に交替される。できれば、山本委員か石野委員に譲っていただきたいが。

<山本委員>

降りてもいい。

<吉田委員長>

それでは、4名については、私と田中委員、木曾委員、石野委員とする。それでいいか。

了

それでは、本委員会から田中委員、木曾委員、石野委員と私を京都中部広域消防組合議会議員に推薦します。正式には、後日、本会議の場で選挙により決定されることになる。

次に、亀岡市防災会議委員は、委員長が就任することになっているので、私が就任することにする。承知願う。以上をもって、総務文教常任委員会を閉議する。

18:35 閉議